

# 哲學論集

第45号 1998

---

## 論文

- 蓮如『御文』の教育学的考察…………… 大竹 鑑 (1)
- カントのコペルニクスの転回…………… 村山保史 (21)
- 科学的説明と実践的文脈——水俣病の原因論に即して——  
…………… 白水士郎 (35)

## 研究ノート

- 十六世紀日本における民衆の宗教的欲求  
——一向宗に関するイエズス会士の報告に基づく——  
…………… 狭間芳樹 (51)
- 日系アメリカ人のアイデンティティ形成と「仏教会」の役割  
…………… 見義信香 (63)

## 学会活動報告

---

大谷大学哲学会

# 大谷大学哲学学会会則

## 第一条 (名称)

本会は大谷大学哲学会と称する。

## 第二条 (目的)

本会は、広義の哲学の研究と発表を行い、各学問領域の交流を盛んにして、学界に寄与することを目的とする。

## 第三条 (事業)

本会は、下記の事業を行う。

- 1 会誌「哲學論集」の発行
- 2 その他必要な事業

## 第四条 (会員)

本会の会員は、大谷大学哲学諸関連学科に所属する教員、大学院学生を中心にし、本会の趣旨に賛同する者とする。入退会は、第五条の2に定める委員会において、これを承認する。

但し、三年分の会費を滞納した者は会員資格を喪失するものとする。

## 第五条 (役員)

本会は、下記の役員を置く。

- 1 会長 本会を代表し、運営における責任を負う。任期は2年とし、再任を妨げない。

## 第六条 (総会)

- 2 学会委員 若干名をもって委員会を組織し、総会の決議に従い、本会の運営にあたる。任期は2年とし、再任を妨げない。

1 総会は、下記の事業を審議し、議決する。

- (イ) 会長及び学会委員の選出
- (ロ) 予算及び決算
- (ハ) 事業方針
- (ニ) その他必要な事項

2 総会は、会長が召集し、会員の3分の1以上の出席をもって成立する。

## 第七条 (経費)

本会の経費は、会費(年額50000円。但し学生会員は、博士課程学生30000円、修士課程学生20000円とする。)及びその他の収入による。

## 第八条 (会計報告)

各年度会計報告は、総会において行う。

## 第九条 (会則の変更)

本会則の変更は、総会において出席者の2分の1以上の同意を必要とする。

## 附則

- 1 本会則は、昭和54年4月1日より施行する。
- 2 昭和57年5月15日一部改正。
- 3 平成元年5月20日一部改正。
- 4 平成7年4月22日一部改正。

『哲学論集』第45号 正誤表

	誤		正
34 頁上 8 行目	むらやま・やすふみ	→	むらやま・やすし
56 頁下 1 行目	親鸞の宗祖	→	親鸞の宗派
57 頁下 6 行目	社会勢力上としての	→	社会勢力上の
61 頁上 5 行目	教義をを説き	→	教義を説き
78 頁上 1 行目	榊井督也	→	榊井督也
編集後記上 12 行目	不熟心	→	不熱心

## 編集後記

定めの時が巡ってきて、編集委員が交替した。それから十ヵ月、どうにか『哲学論集』第45号の刊行に見通しがついた。よくここまで来れたという感慨がわいてくる。

今年度は、社会学の野村教授が退職され、哲学会の会長を辞されたので、新たに宗教学の武田武麿教授が会長に就かれた。新会長に新委員とくれば、何度も顔を合わせて学会事務を処理すべきであったが、遺憾ながらその機会もなく、個別的に連絡をとりあいながら会の運営にあたって来たのが実情である。しかし今年度の委員がことさら不熱心でそうだったというわけでもない（と思っている）。授業と各委員会の校務の間をぬって学会の委員会を開こうとしても、六人が顔を揃える機会がほとんどないのである。止むをえず、会務を分担して個々に努力するという形にしたがわざるをえなかった。

委員が少なくて仕事の負担が大きくなったというわけではない。一緒に会って仕事をするための時間の調整ができないのである。会を開こうとしても誰かが都合がつかない。こうして慌ただしいという印象だけが激のように残る。六人の編集子だけでもこの苦勞のだから、学会全体で研究会を開くことがどんなにむずかしいか、推して知るべしである。だが、編集の仕事は情報の伝達にかかわるが、伝達すべき思想の創造は会員各自に委ねられている。パソコンの発達普及によって伝達速度は速くなったが、思想の熟成には相変わらず時間が必要である。自己の思想が成熟してゆくための閑暇をどうしたら確保できるか、薄くなった『論集』第45号がその困難を身を以て示しているといえよう。執筆者各位にあらためて感謝いたします。

編集委員

箕浦・鈴木・門脇  
高井・山本・藤枝

哲 学 論 集

第45号

1999年3月23日印刷  
1999年3月25日発行

集 行  
編 発

大谷大学哲学会

代 表 者 武 田 武 麿

〒603-8143  
京都市北区小山上総町  
大谷大学内(TEL 075-432-3131)

印 刷 (株) 石 田 大 成 社

# TETSUGAKU RONSHU

THE PHILOSOPHICAL STUDIES

---

No. 45

1998

---

## Articles

An Essay on Rennyō's *O-Fumi* from the Viewpoint of Education  
..... ŌTAKE Akira (1)

Die Kopernikanische Revolution bei Kant  
..... MURAYAMA Yasufumi (21)

Scientific Explanation and Practical Context  
— In terms of the Dispute over the Cause of Minamata Disease —  
..... SHIROUZU Shiro (35)

## Notes

The Religious Desire of Japanese Common People in the 16th century  
— Based on the Reports of Jesuit on the Ikkō-shū Adherent —  
..... HAZAMA Yoshiki (51)

The Development of Japanese-American Identity and the Role of  
the Buddhist Churches of America ..... MIYOSHI Nobuko (63)

## Announcements

---

THE OTANI PHILOSOPHICAL SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY